

報道関係社各位

2019年1月22日

株式会社エフエム東京
パイオニア株式会社

TOKYO FM とパイオニア 広告配信サービス「ドライブ行動特化型デジタル音声広告」を共同開発

～ユーザーのドライブ行動を解析し、特性に合わせた広告・コンテンツの配信が可能～

株式会社エフエム東京(東京都千代田区、社長:千代 勝美、以下「TOKYO FM」)とパイオニア株式会社(本社:東京都文京区、社長:森谷 浩一、以下「パイオニア」)は、TOKYO FM が提供している、全国のFM局のラジオ番組をエリアフリー・無料で楽しめるラジオアプリ「WIZ RADIO」を活用して、ユーザーのドライブ行動特性に合った音声広告を配信するサービス「ドライブ行動特化型デジタル音声広告」を開発しました。

この「ドライブ行動特化型デジタル音声広告」は、パイオニアがカーナビゲーションで長年培ってきたプローブ情報解析技術を用いて「WIZ RADIO」のログデータからドライブ行動を抽出し、その頻度や曜日、時間などの行動特性を解析します。その解析データを基に、個々のドライブ行動特性に合った音声広告を最適なタイミングで配信することが可能になります。

ドライブ行動特化型デジタル音声広告 概要



両社は、2019年2月より、「ドライブ行動特化型デジタル音声広告」の試験配信を行う予定です。

両社は、車のコネクテッド化や自動運転など自動車を取り巻く環境が大きく変化する中、車内におけるエンタテインメントに対するニーズは今後さらに高まると考えています。将来的には、パイオニアが地図データおよびプローブ情報を基に解析・蓄積してきた「行動傾向データ」を本サービスに紐付けることで、ログデータや Web アクセス履歴では補足できない地点属性情報まで考慮し、行動を先読みするなど、より高度なデータドリブンマーケティング*が可能になります。

※データ解析に基づくマーケティング

今後も両社は、TOKYO FM が培ってきたメディアノウハウや地域特化情報発信ノウハウと、パイオニアが培ってきた車室内エンタテインメントに関するノウハウ、プローブ解析技術を組み合わせ、音楽を用いた新しいカーライフの提案を進めてまいります。

パイオニアのプローブ情報に関する取り組み

パイオニアは、1990 年に世界初の「市販 GPS カーナビゲーションシステム」を発売し、2006 年には走行履歴データを収集して共有する独自のネットワークサービス「スマートループ」を開始しています。以降 10 年以上にわたって蓄積したプローブ情報を活用して、渋滞回避ルートの案内や災害発生時における通行可能道路の判別などに役立てています。

<https://jpn.pioneer/ja/>